

北星学園大学 後援会だより

VOL.137
Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2019年6月3日
発行所 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011) 891-2731
印刷 山藤三陽印刷株式会社



現在、日本全国の大学、短期大学の総計は1,900校程設置されているとの事ですが1887年に米国の女性宣教師サラ・C・スミスが創立した北星学園は「世にあって星のように輝き」の建学理念のように歴史と伝統を脈々と継承し、本年度、創立132周年を迎える総合学園となっております。今年度、大学院、大学、短期大学部を志望し、見事合格した新入生、編入生の総計1,141名の皆さん、入学おめでとうございます。

今年度より入学式として初めて利用した、札幌文化芸術劇場「hitaru」にて入学式を挙行いたしました。当日は新入生、ご家族の皆様が早くから来場され、会場の造りに関心を持たれたようです。多数の方々にご臨席をいただきましたこと、篤くお礼申し上げます。4月1日からのオリエンテーションを経て、9日からは前期授業が始まりました。外はまだ寒いですが、連日、キャンパスの広場や各処で昼休みや授業の合間に先



責任を持つ心豊かな学生
後援会会長 **深澤 秀則**

の原点となることばが紹介されました。在学生代表からは、常に問題意識を高く持つこと、苦しい時に思いを聞いてくれる真の友人を持つてほしいなどの歓迎のことばがあり、新入生代表からは、責任をもって自らの行動をする、広い北海道で役立つ知識を持つ心豊かな学生になること等誓いの言葉がありました。入学生一同あらためて、北星学園の一員になったことを実感したことと思います。

「平成」から「令和」への元号またぎに入学した皆さんは、厳しい受験勉強から解放され、北星学園のシンボルであり校花でもあるライラックが咲き乱れる開学以来最高に教育設備の整ったキャンパスで、様々な思いや期待を胸に抱きながら、良き友と出会い、学業やサークル活動等の

2018年4月に着任し、1年が経ちました。この間、北星学園大学・同短期大学部の将来をどう発展させていくかの検討、さらに、大きく変わった本学を運営していくための委員会等に多くの時間がかかりましたので、もともと円滑に運営出来なかったのかと1年を振り返って反省しております。

少し肌寒い天候でしたが、4月5日(金)に、4階席まである、新しくできた札幌文化芸術劇場hitaruにて入学式を挙行いたしました。当日は新入生、ご家族の皆様が早くから来場され、会場の造りに関心を持たれたようです。多数の方々にご臨席をいただきましたこと、篤くお礼申し上げます。4月1日からのオリエンテーションを経て、9日からは前期授業が始まりました。外はまだ寒いですが、連日、キャンパスの広場や各処で昼休みや授業の合間に先

輩学生がサークル等への勧誘を盛んに行っていました。今年の入学人数は、以下の通りです(括弧内は2、3年次編入者数)。文学部英文学科125(17)、心理・応用コミュニケーション学科98(7)、経済学部経済学科163(3)、経営情報学科125(5)、経済法学科129(1)、社会福祉学部福祉計画学科93(1)、福祉臨床学科81(5)、福祉心理学科81(1)、短期大学部英文学科109、生活創造学科88。全学で定員を上回る学生を迎えました(定員の1.08倍)。他に、大学院社会福祉学研究所(修士4、博士1)、経済学研究科(修士4)計9名が入学いたしました。なお、3月15日の同じ会場での卒業式では、学部生863名、短

期大学部生209名、大学院修了者13名が世に羽ばたきました(卒業生総数は5万1161名となりました。)

また、例年のように、春学期英米中韓等からの留学生25名を迎え、キャンパスは一気に国際色豊かな賑わいを呈しております。

就職率は昨年を上回り、好調で大学98.7%、短大97.3%となっております。これも偏に本学の卒業生の活躍とご後援いただいた皆様のご支援のおかげと存じております。

大学の教育・研究活動に、後援会の皆様のお力添えを一層いただき、本学の社会的役割をさらに高めるよう努めたく存じます。



**社会的役割の
さらなる充実を目指します**
学長 **大坊 郁夫**

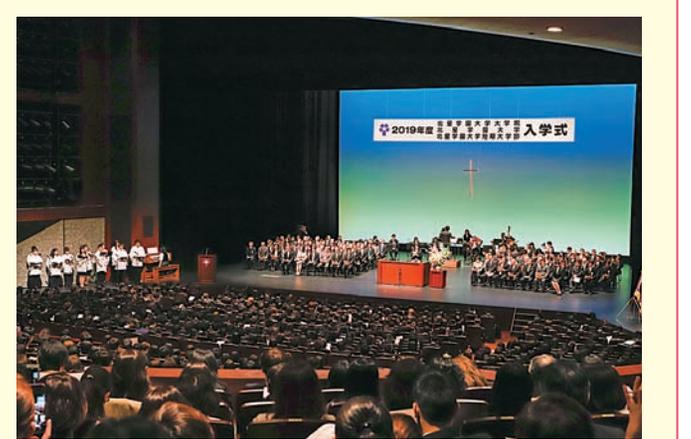
学生生活を始めていく時期でしよう。大学生、短大生になると、自由と自主性が大いに重んじられ、行動範囲も交友関係も大きく広がるなかで、社会の仕組みを知り、人間模様を見聞する機会が増えます。多方面に亘る情報が氾濫している現代に於いて、世俗的な価値観にだけとらわれることなく、正確な情報を身につけ、自己管理を徹底し、学生時代にしか出来ない経験をし、入学した目的を忘れることなく、将来を見据えて、青春を謳歌してください。

保護者の皆様には、後援会にご入会いただき御礼申し上げます。後援会は設立以来、今年で35年目になりますが、学生達の教育活動支援に誠心誠意努力しますので、御協力宜しくお願い致します。

入学式 開催報告

4月5日(金)午後1時より、札幌文化芸術劇場「hitaru(ヒタル)」にて2019年度入学式が開催されました。

多くの方がご出席くださる中、大学3学部と短期大学部、大学院を含めた新入生総数1,141名が喜びに満ちた笑顔で晴れの日を迎えました。オルガンの前奏、一同による讃美歌「いつくしみ深き」合唱、チャプレンの聖書朗読と祈祷があり、学長の式辞、学園長の祝辞がありました。その後、在学生代表による歓迎の言葉、新入生代表による誓いの言葉を経て、吹奏楽部とチャペル・クワイアが谷川俊太郎氏作詞の学歌を披露し、讃美歌、祈祷、後奏をもって入学式は終了いたしました。閉会後は、晴れやかな表情で記念撮影をする新入生の姿が多く見られました。これから始まる北星学園大学・短期大学部での生活が有意義で実り多き時間となるよう願っています。



新入生からの言葉 大学生活にむけて

文学部 英文学科

須藤 紗帆 さん



入学式から一週間がたち、いよいよ本格的に授業が始まろうとしています。オリエンテーションでは人数の多さに圧倒され、「履修登録」や「概論」など聞き慣れない言葉に不安を感じましたが、日が経つごとに少しずつ慣れてきました。気楽に話しかけてくれる新しい友人や質問に親切に答えてくださる先輩方、わからない事を丁寧に説明して下さる先生方のおかげで安心して学生生活に励むことができそうです。好きな教科の授業を受けたり、取らなければならない授業を見極めたりと今までできなかった「自分で選択する」ということに喜びを感じています。自分で選択することは、全ての責任を自分で負うことになり、時には失敗することもあると思います。そんなときは失敗からも学べることがあると信じて前向きに大学生活を過ごしていきたいです。新しいことを始めるときは臆病になりがちですが、何事にも挑戦するという姿勢を大切にしたいと考えています。学科の勉強に努めるのはもちろんですが、幅広い分野の知識と教養を身に付け、今後の社会で活躍できる人になれるよう、邁進する4年間にしたいです。

経済学部 経済法学科

馬淵 翔大 さん



入学して約10日が経ちましたが、とても濃い10日間になりました。最初のオリエンテーションでは、履修登録の仕組みを理解するのが一番大変でした。高校にはない制度なので自ら時間割を作ることがとても難しかったです。入学式が終わりいよいよ授業が始まりました。まだ教室に行くのにも一苦労している段階ですが、大学での授業を経験し、やはり大学では自ら学んでいく姿勢がとても大事なのだと感じました。履修登録の単位計算、授業の欠席の回数や成績、レポートの提出期限など、日々の自己管理を怠ってはいけないことが多くあると強く感じています。勉強面が大事なのは当たり前ですが、やはり大学生なので楽しみながら学生生活を送ることも重要だと思います。僕は現時点では入ると決めているサークルや部活はありませんが、どこかには入ろうと思っています。友達や先輩との輪を広げていくことでより楽しく大学生活を送れるのだと思います。充実した4年間を過ごして、最後に卒業する時には「楽しかった」と言えるように色々な面で努力して、悔いの残らない大学生活を送りたいと思います。

社会福祉学部 福祉臨床学科

紺野 悠仁 さん



大学生活が始まり約一週間が経ち、今では新たな友人とも出会い、充実した大学生活を送っています。入学当初は広いキャンパスや、大人数で受ける授業など高校とは全く違う環境に戸惑うことが多くありました。また、時間割を自分で作成するという作業はとても難しく、時間割の組み方や履修登録に迷う日々でした。しかし、友達と協力し、先輩に助けてもらうなど、自分ですべて考えるのではなく色々な人の意見を参考にすることで、自分にあった時間割の組み方を見つけられたと思います。そして、わからないことや不安なことは一人で悩まず、仲間と協力することが大切だと改めて感じました。大学と高校の大きな違いは、自由の多さだと思います。自分で受けたい講義を決め、いつ大学に行くかなど、高校の時のようにすべてが決められている訳ではありません。しかし、それは全てが自分の責任になると思います。常に自分が今、何をすべきかを考え、責任ある行動を心がけて生活していきたいです。私は将来、福祉関係の職業に就職したいと考えています。この4年間を充実したものにして夢を実現できるように頑張りたいです。

短期大学部 生活創造学科

伊田 七海 さん



大学生活が始まり一週間が経ちました。広いキャンパス内を行動することや、人の多さに圧倒され、まだ不定期な授業日程や内容についていくことに必死なので、早く慣れていきたいと思っています。高校時代とは全く違った授業内容は難しいと感じながらも新鮮で、また一般教養では高校では学ぶことのできなかった専門的な科目の授業を受けることができ、楽しさを感じています。履修登録は全ての授業を自由に自分自身で決めることができるので、将来役立つ科目を選ぶこともできます。ですが、少し間違えると後戻りができないので、履修登録も緊張感をもって慎重に選択し、自分の行動に責任を持たなければならないと感じました。そして、この大学生活で責任を持ち、自立した人間に大きく成長していきたいです。短期大学は2年という短い期間しかありません。その2年は社会に出るための準備期間だと思います。なので、一日一日を無駄にせず将来を見据えて、有意義な2年間にしていきたいです。

学長	大坊 郁夫	総合情報センター長	佐藤 友暁
副学長	鈴木 剛	社会連携センター長	内山 智
学生支援委員長	鈴木 剛	心理臨床センター長	牧田 浩一
文学部長	日高 嘉彦	広報委員長	西田 充潔
文学研究科長	蓑内 豊	アカセシビリティ支援室長	田実 潔
経済学部長	秋森 弘	総合研究センター長	秋森 弘
経済学研究科長	田中 耕一郎	事務局長	桑原 大幸
社会福祉学部長	藤原 里佐	事務局次長	山本 一博
社会福祉学研究科長	田中 耕一郎	大学事務部長	笠松 英雄
図書館長	藤原 里佐	法人課長	越江 真理
短期大学部長	藤原 里佐	IR広報戦略室長	越江 真理
英文学科長	高橋 克依	総務人事課長	今田 康昭
心理応用コミュニケーション学科長	田辺 毅彦	財務課長	高橋 章
経済学学科長	勝村 務	教育支援課 第一課長	前村 俊一郎
経営情報学学科長	韓文 熙	教育支援課 第二課長	佐々木 薫
経済法学科長	長屋 幸世	学生生活支援課長	宗石 依久子
福祉計画学学科長	佐橋 克彦	国際教育課長	遠藤 潤
福祉臨床学学科長	永井 順子	就職支援課長	鈴木 麻里子
福祉心理学科長	西山 薫	社会連携課長	鈴木 克知
短期大学部英文学科長	白鳥 金吾	研究支援課長	竹内 禎哉
短期大学部生活創造学科長	遠藤 太郎	情報システム課長	山田 充雄
センター長	岩本 一郎	入試課長	桐山 城太郎
入学試験センター長	岩本 一郎	司書課長	川原 靖彦
キャリアデザインセンター長	岡田 直人	学生相談センター長	高野 正明
国際教育センター長	岡田 直人	学習サポートセンター長	鴨澤 あかね
ピアター・グレイ	ピーター・グレイ		
センター長	中村 和彦		

組織紹介

修了式・卒業式、卒業記念祝賀会 開催報告

3月15日（金）午後1時より、札幌文化芸術劇場「hitaru（ヒタル）」にて2018年度修了式・卒業式が行われ、大学及び短期大学部、大学院合わせて1,085名が卒業・修了しました。

式はオルガンの厳かな前奏から始まり、一同による讃美歌合唱、チャプレンによる聖書朗読と祈祷ののち、卒業証書・学位記授与を執り行いました。その後、学長、理事長、同窓会長からの祝辞、卒業生代表のことがあり、学歌演奏、賛美歌、祝祷、後奏をもって卒業式は終了いたしました。

閉会後は、ロイトン札幌にて卒業記念祝賀会を行いました。約800名の卒業生が参加し、ビュッフェスタイルの食事を囲みながら、教職員や友人たちと卒業の喜びを分かち合うにぎやかな祝賀会となりました。



修了式・卒業式の様子



卒業記念祝賀会の様子

◆ご相談ください◆

～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。

詳細は今年度のキャンパスガイド45～48頁（学生への配付冊子）、及びキャンパスガイドWEB (<http://cgw.hokusei.ac.jp/>) → 「奨学金・学費・実習費」 → 「学費とQ&A」 「奨学金」をご参照ください。

■各種減免制度

○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。財務課までお申し出ください。

○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

○修学困窮者減免

学費負担者（主として家計を支えている者）の死亡・病気・自己都合以外の理由での失職（解雇・倒産等）や災害等により経済的に修学が困難になった学部又は短期大学部の学生に対する減免制度です。それぞれの状況により条件が異なりますので、学生生活支援課までご相談ください。

■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延長することが可能です。財務課までご相談ください。

学術出版の紹介

『境界を持たない愛—ヘンリー・ジェイズ作品の同性愛をめぐって』

文学部英文学科 斎藤 彩世 専任講師

2018年度に大学後援会学術出版補助をいただき、この度標記の拙著を上梓することができました。後援会の皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。

本書はヘンリー・ジェイズという、19世紀後半から20世紀初頭にかけて活躍した作家の作品について論じたものです。ジェイズはその難解な作風とともに、英米文学に大きな影響を与えた作家として知られています。コスモポリタンの作家として、特定の社会の価値観や多数派の価値観にとらわれない自由な視点が、彼の作品の大きな魅力です。

ジェイズは、19世紀の英米社会が依拠していた「結婚制度」や「異性愛中心主義」に対しても距離を置いて考察しています。とりわけ同性愛とは何か、なぜ社会の中で挫かれてしまうのかといった問題は、ジェイズにとって重要な課題だったように思われます。本書は、そのような同性愛にまつわる問題意識がどのように小説に書き表されたのか、生涯に渡る変遷を追ったものです。

本書が、ジェイズ作品や文学研究に関する案内になるとともに、時代や国を超えて、私たちの人生や社会においても重要な、「愛の本質」や「ある社会における支配的な価値観」について考え直す一助となれば幸いです。



後援会からのプレゼント

後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しています。2018年度卒業生には『卒業記念PHOTOBOOK』を贈りました。ゼミやクラス、サークルの集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校の思い出を振り返ることのできる1冊となっています。

また、2019年度新入生には『マグボトルとUSBメモリー』を贈りました。どちらも本学のロゴと校章がデザインされたオリジナルの製品となっていますので、今後の大学生活の中でぜひご活用ください。



卒業生へ

新入生へ

2019年度 大学行事予定

4月	1日(月) オリエンテーション(～4月7日)	7月	29日(月) 前期授業終了	10月	31日(木) 宗教改革記念講演会
	4日(木) 定期健康診断(～6日)		1日(木) 『後援会だより』第138号発行 前期定期試験(～8月9日)		11月
	5日(金) 入学式	8月	24日(土) 旭川地区父母懇談会	2日(月) 『後援会だより』第139号発行	
	8日(月) 履修登録開始(～14日) 前期授業開始		25日(日) 北見地区父母懇談会	12月	23日(月) クリスマス礼拝
5月	2日(木) 学園創立記念日	31日(土) 帯広地区父母懇談会	24日(火) 年内授業最終日		1月
	15日(水) 後援会第1回役員会	1日(日) 釧路地区父母懇談会	20日(月) 後期授業終了	3月	
	20日(月) スミス・ミッションウィーク(～24日)	7日(土) 函館地区父母懇談会	4日(水) 卒業者名簿発表		3月
	25日(土) 後援会総会・懇親会	8日(日) 苫小牧地区父母懇談会	13日(金) 卒業式 『後援会だより』第140号発行		
6月	3日(月) 『後援会だより』第137号発行	17日(火) 後期授業開始			
	7日(金) 体育祭(～8日)	30日(月) 前期期末卒業式			
	29日(土) 第1回札幌地区父母懇談会 (大学3・4年次、短大部2年次対象)	12日(土) 大学祭(～15日)			
		13日(日) ホームカミングデー			

2019年度 地区別父母懇談会のお知らせ

今年も下表のとおり、地区別父母懇談会を開催します。全体会後には、お子様の前年度までの修得単位数や評価がわかる「成績通知票」、「授業科目別出席状況」等を用意し、学科教員と個別面談を行っています。同時に、就職に関する個別相談を就職支援課にて実施します。地方会場では、昼食を兼ねてご父母同士の懇談の時間もあります。毎年、参加した皆様からは大変好評ですので、今年も多くの方のご参加をお待ちしております。なお、この地区別父母懇談会のご父母の皆様からの会費により運営しています。この場を借りて心より感謝申し上げます。

- ※個人情報の保護に関する法律に従い、学生本人が同意しない場合には、修得単位数や修学状況に関する情報を保証人にお伝えすることができません。
- ※詳細につきましては、本学ホームページにてご確認ください。
- ※学生本人を同席させての三者面談は行いません。
- ※大学3・4年次と短期大学部2年次のご父母対象の6月29日(土)札幌地区父母懇談会の申込締切(6月10日)が近づいております。参加ご希望の方はお忘れなくお申込みください。

右記QRコードから申込フォームにアクセスできます。



全体会の様子(札幌)



就職相談の様子(旭川)



個別面談の様子(北見)

2019年度 後援会地区別父母懇談会 開催予定

① 6月29日(土)	札幌地区(1回目) 大学3・4年次対象 短大部2年次対象	北星学園大学 校舎
② 8月24日(土)	旭川地区	アートホテル旭川 旭川市7条通6丁目29番地2
③ 8月25日(日)	北見地区	ホテル黒部 北見市北7条西1丁目
④ 8月31日(土)	帯広地区	ホテルグランテラス帯広 帯広市西1条南11-2
⑤ 9月 1日(日)	釧路地区	釧路プリンスホテル 釧路市幸町7丁目1番地
⑥ 9月 7日(土)	函館地区	フォーポイントバイシェラトン函館 函館市若松町14番10号
⑦ 9月 8日(日)	苫小牧地区	グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町4丁目3-1
⑧ 11月 2日(土)	札幌地区(2回目) 全学年対象	北星学園大学 校舎

留学生 ホストファミリー

大募集!

北星学園大学では長期・短期のホストファミリーを募集しております。
 長期ホームステイの場合、受け入れ期間は4月から7月中旬、または9月から12月中旬の各1学期(およそ14週間)で、その間の食住費として一定額の補助をさせていただきます。受け入れていただくのは主にアメリカとカナダからの留学生です。ご登録いただいたご家庭には各学期の前に照会をさせていただきます。ご都合の合う場合に留学生の受け入れをお願いしています。
 短期ホームステイは学期中に一回、週末にイギリス、カナダ、スペイン、スイス、韓国、台湾、中国、インドネシアからの留学生を受け入れていただくというものです。長期同様、事前にご都合を照会させていただきます。こちらはボランティアでの受け入れをお願いしています。
 どちらの場合も英語等の語学力は必ずしもホストファミリーの条件ではありません。
 ホームステイは留学生にとって日本での留学生活の中で最も貴重な経験の一つとなっています。皆様のご家庭でも留学生を迎えて国際交流をしてみませんか?

問合せ先 **北星学園大学 電話(代表):(011)891-2731 FAX:(011)891-9550**
国際教育課 <http://www.hokusei.ac.jp/international/homestay/>



あ と が き

キャンパス内は、色鮮やかなライラックが咲き、初夏の訪れを感じる季節となりました。今年も6月29日(土)から地区別父母懇談会が始まります。多くの方のご出席を心よりお待ちしております。
 (後援会事務局 西藤・大山)

北星学園大学教育振興寄付金ご芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

【寄付】2019年2月1日から4月30日まで(敬称略)

- ☆大学・短期大学部(旧教職員・理事・教職員)
- 河野 和枝 大山 綱夫 酒井 玲子
- 笠松 英雄

後援会 とは ?

北星学園大学後援会は、在学生のご父母、卒業生のご父母及び同窓生を会員として構成されており、今年で設立35年目になります。

本会の目的は、北星学園大学・短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」として活動を行っています。一例として、図書館への図書等の寄贈、教員への学術出版補助、全国学会や学部・学科等で主催する事業への補助、国際交流経費補助などです。学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生への補助や学生の就職活動支援、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う備品等の購入も行っていきます。

また、ご父母向けに毎年地区別父母懇談会を道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催し、本学の教育方針やカリキュラムの説明、学生の修学状況についての個別面談を行っています。ご父母の皆様が本学を知っていただく良い機会となっておりますので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

なお、『後援会だより』は年4回発行し、会員の皆様に大学の情報をお届けしています。大学ホームページからもご覧いただけます。

※後援会に関することは右記QRコードからご確認ください。

